

サイン&ディスプレイ Signs & Displays



特集

「デジタルサイネージ ジャパン 2011」レポート

コンクール

デジタルサイネージアワード 2011

アウトドア・アド・マップ

東京シティエアターミナル

注目の展示会

SIGN EXPO 2011

2011.7 No.619

武蔵野総合病院 屋上広告塔

施主 医療法人 武蔵野総合病院

デザイン設計 株式会社 東西社、株式会社ウララネオン

今月の表紙



2011年3月に埼玉県川越市の武蔵野総合病院（運営：医療法人 武蔵野総合病院 / 理事長 小室万里 / 住所：川越市大袋新田 977-9）の屋上広告塔がリニューアルされた。

広告塔は4面で、サイズ北東面・南西面がW13,954×H3,500mm、南東面・北西面がW5,384×H3,500mm。FFシート貼りのLEDによる内照式で、全面発光ではなく部分発光としてLED個数を削減し尚且つ消費電力の大幅な削減を図った。また光漏れを防ぐために、光を遮るブロックアウトシート（住友スリーエム製）を使用。これにより、視認性を確保しつつ、製作コストと電気使用料を抑えている。

全面FL管のプランと本案で電気使用量と電気料金を計算表により比較したところ、本案のほうが電気使用量・料金をともに約1/10まで削減できる事が判り採用につながった。光源のLEDはアリストジャパン（株）のペンタライト（白色）を使用した。

「武蔵野総合病院」の文字部分には、住友スリーエム製のデュアルカラーフィルムを用いて、日中は黒、夜間の発光時には白色となるようにした。昼と夜の顔を大きく変えることで、インパクトのあるサインとなった。

武蔵野総合病院は国道16号線沿いに立地し、付近には県道114号線と交わる大袋新田交差点がある。車の交通量が多いうえに交差点に滞留する車も多い。リニューアルされたサインは、付近を通行するドライバーに対して高い視認性を発揮している。

■ 施主

医療法人 武蔵野総合病院

■ プランニング

（株）東西社

■ デザイン設計

（株）東西社、（株）ウララネオン

■ 製作施工

（株）ウララネオン

Cover> 2011.7 No.619